

核兵器廃絶平和の町として宣言しました

安平町は、この度の6月定例議会において合併前の旧町がそれぞれで行っていた核兵器廃絶平和の町宣言について、日本国憲法に掲げられた平和希求の精神を語り継ぐとともに、我が国に再び戦争の惨禍が起ることのないよう町民総意により決意することとし、安平町として新たに核兵器廃絶平和の町として宣言しました。

また、町では今後これに伴いセレモニー等の開催を予定しています。
宣言文は以下のとおりです。

—核兵器廃絶平和の町宣言—

戦争が無く、人々が安全で平和に暮らすことは、人類共通の願いです。

この切なる願いにもかかわらず、核実験が繰り返され、人類はいまだ核戦争の脅威にさらされております。

いま、地球環境を守るために核兵器の使用禁止、廃絶を求めることを、世界唯一の被爆国である我々日本国民は、世界の子供たちに語り継いでいかなければなりません。

私たち安平町民は、日本国憲法に掲げられた平和希求の精神に基づき、美しい自然や生物を大切に思い、非核三原則の堅持と核兵器の廃絶を求め、核兵器廃絶平和の町であることを宣言します。

『泊発電所におけるプルサーマル計画について

検討をおこなっています。』

北海道及び地元4町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）では、今年4月に北海道電力㈱から「泊発電周辺の安全確保及び環境保全に関する協定」（安全協定）第2条に基づき泊発電所3号機におけるプルサーマル計画に関する事前了解の協議の申し入れを受けました。

プルサーマル計画については、安全性の確保を最優先として慎重な検討が求められていることから、現在、北海道では地元4町村と共同で、地元住民をはじめとした道民の皆様方からのご意見を広く伺いながら、「プルサーマル計画に関する有識者検討会議」により、プルサーマル計画の安全性について科学的かつ専門的は見地から検討を進めています。

詳しくは北海道のホームページをご覧ください。

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/gat/p_top.htm

なお、検討状況については、道内各支庁においても関係資料の閲覧が可能です。

【問合せ】 北海道総務部危機対策局原子力安全対策課環境安全グループ

☎ 011 - 204 - 5012（ダイヤルイン）

北海道からの
お知らせ

苫小牧市医師会休日当番実施医療機関

（診療時間 9時～17時）

9月（内科）	9月（外科）
14日 三好内科胃腸科クリニック 豊川町3 ☎⑦5 7711	14日 同樹会苫小牧病院 新中野町3 ☎③6 1221
15日 鈴木小児科内科医院 しらかば町5 ☎⑦4 5665	15日 江夏泌尿器科医院 木場町2 ☎③③ 3855
21日 みなかみ医院 新中野町3 ☎③② 2335	21日 苫小牧日翔病院 矢代町2 ☎⑦② 7000
23日 稲岡内科小児科 北光町2 ☎⑦② 5141	23日 苫小牧泌尿器科クリニック 明野新町2 ☎⑤⑦ 0455
28日 苫都病院 若草町5 ☎③④ 2135	28日 にっしん泌尿器科クリニック 日新町2 ☎⑦① 1100
10月（内科）	10月（外科）
5日 川村クリニック 有珠の沢町4 ☎⑦④ 5577	7日 苫小牧東部脳神経外科 北栄町2 ☎⑤③ 5000



苫小牧夜間休日急病センター（苫小牧市旭町2丁目）☎⑤ 0001

○科目 内科、小児科

○診療時間 平日：19時～翌朝7時 土曜：14時～翌朝7時

日曜・祝日、年末年始(12/31～1/3)：9時～翌朝7時